平成２１年5月１４日

那須塩原市下水道審議会委員　各位

那須塩原市下水道審議会会長　太田　正

下水道審議会における「今後の会議の進め方」について

先日は、大変お疲れ様でした。今後ともよろしくお願いいたします。
ご承認をいただいた「今後の会議の進め方」につきまして、松本委員からあったご提案にもとづき下記のとおり文章にしましたので、お配りいたします。

記

諮問書で、審議会に求められているポイント

①下水道整備にはいくつかのタイプ別の整備の方式がある。それぞれに特徴があるが、今後、市街地から周辺部へと整備の中心が移っていく中で、どのような処理方式を採用すれば効果的で効率的な整備が進み、全体としての環境保全と快適な生活環境の創出につなげていけるのか。さらになるべくスピーディーに、あまり財政負担にならないように、ということで考えていった場合に、どのような下水道整備のあり方が望ましいのかということをご検討いただきたい。

②　①を踏まえたうえで、多額の事業費を注入して整備を進めていくことになるので、そういう点では国も地方も大変厳しい財政環境の下にあることから、今後健全な下水道の経営をどう維持していくのかということが次に問われてくる。この点についてもご検討いただきたい。

つまり

一つは快適な市民生活・環境をどう創っていくのか、もう一つは水質汚濁の防止という水環境対策としての効果的な推進をどう図るのか、という下水道の持っている二つの大きな目的に沿って、①最も効果的で適切な整備のあり方を考えていくということと、②その上に立った事業経営のあり方を検討するということである。

この２つを、１年ごとに分けて審議し、両者を併せた最終の結論を『答申』という形で市長に渡す。